

松が谷 高等学校 令和8年度（１学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（１組 藤田）（２組 宮田）（３組 藤田）（４組 藤田）（５組 藤田）（６組 宮田）（７組 宮田）（８組 宮田）

使用教科書：（「探求 現代の国語」（桐原書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			読 書	書 読	読					
1 学 期	1.「ふしぎと人生」河合隼雄 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 「ふしぎ」という思いから主体的に考えを深めていくことの大切さを理解する。	・随想の基本的な読み方を習得する。 ・二項対立的な内容を把握しながら、全体の構成を的確に捉える。 ・具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 ・「自然科学」的な見方と「物語」的な見方の意義について、自分との関わりの中で考察する。 ・「物語」についての筆者の捉え方に対して、自分の考えをまとめる。	○		・「ところが」「しかし」など、逆接の接続語の働きを正確に理解している。 ・同音異義語について、意味の違いを理解し、使い分けることができる。 ・対比や相互関係に着目して読み取り、筆者の主張を理解している。 ・「物語」についての筆者の捉え方に対する自分の考えをまとめ、それを支える適切な話題を設定し、表現に工夫ができる。 ・「ふしぎだな」という思いや、それに対する答えの出し方について考えることで、教材の内容への関心を高めている。 ・「自然科学」と「物語」の双方について、自分なりにその意義を考えている。		○	○		7
	定期考査						○	○	○	
	2.「サイボーグとクローン人間」山崎正和 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	・常用漢字を文や文章で活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・二項対立による比較対照に着目し、筆者の主張を的確に捉える。 ・「サイボーグとクローン人間」という話題を通して、現代の科学や社会のあり方について自分の考えを深める。 ・サイボーグやクローン人間のように科学技術の発展が人の考え方に影響を及ぼした例を考え、文章にまとめる。	○		・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・接続語の働きに注意して、比較対照されている内容を正確に理解している。 ・本文の記述と、写真や年表との対応関係を理解している。 ・「感情の砂漠」「この二元論」「『危険』な好奇心」「安全な良識」など、注意を要する表現を正確に理解している。 ・サイボーグとクローン人間の違いについて、「製作法」「人々の反応」「人間の考え方や生き方への影響」の三点からの確に捉えている。 ・本文の内容を参考に科学技術の発展が人の考え方に影響を及ぼした例を自分なりに考えまとめることができる。		○	○	○	
定期考査							○	○	○	

2 学 期	3. 「経済の論理／環境の倫理」 岩井克人	・ 常用漢字を文や文章ので活用する。 ・ 評論の読み方を習得する。 ・ 論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 ・ 「未来世代」と「現在世代」との利害対立という観点から、環境問題に対して認識を深める。 ・ 本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べたうえで、環境問題の現況や展望について考察し、意見を述べ合う。	○	○	・ 本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・ 「言い換えれば」「しかし」など、接続語の働きを正確に理解している。 ・ 「倫理」「信任」など、キーワードの意味を正確に理解している。 ・ 「倫理」を意識しながら、全体の構成を的確に把握している。 ・ 経済学の基本的な考え方、環境問題に対する一般常識と経済学との考え方の違いを理解できる。 ・ 環境問題の原因と解決策を考えることで、教材の内容への関心を高めている。 ・ 本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べ、自ら問題点を見つけ、その解決策を考えている。	○	○	○	8		
	定期考査						○	○	○		
	4. 「わかれとうとする姿勢」 鷗田清一	・ 常用漢字を文や文章ので活用する。 ・ 評論の読み方を習得する。 ・ 具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 ・ 「他者理解」というテーマについて、筆者の主張を読み取ったうえで、自分の考えを深める。	○	○	・ 本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・ 「全人的理解」「(主体－客体)の関係」「この非対称」など、注意を要する表現を理解している。 ・ 「他者の理解」において大切なことは何かを的確に読み取っている。 ・ 「他者の理解」に向かう姿勢についての筆者の主張を読み取ったうえで、それに対する自分の考えを持ち、その考えを例を挙げながら説明している。 ・ 「わかる」という言葉の意味を確認することから、教材の内容への関心を高めている。 ・ 本文中の具体例を通して、「わかれとうとする姿勢」とは何かを考えている。			○	○	8	
3 学 期	5. 「白い蛾」 安部公房	・ 登場人物の心の動きに注意して、作品の主題について考察し、人間のあり方に対する考えを深める。 ・ 鷗田清一「わかれとうとする姿勢」で述べられた「他者の理解」について、本作品の中で「わかれとうとする姿勢」の実際とその効果を確認する。	○	○	・ 小説の基本的な読み方を習得する。 ・ 情景、心情などを表現に即して丁寧に読み取ることによって、登場人物の中で生じた変化の様子を捉える。 ・ 作品構造において、各登場人物に与えられた役割について理解する。 ・ 鷗田清一「わかれとうとする姿勢」で述べられた「他者の理解」について、本作品の中で「わかれとうとする姿勢」の実際とその効果を確認することを通じて考察を深める。			○	○	○	2
	定期考査							○	○	○	
	6. 「言葉を読むとは」『言語ゲーム』の概念 高田明典	・ 常用漢字を文や文章ので活用する。 ・ 評論の読み方を習得する。 ・ 比喩表現が指す内容を正確に押さえて、筆者の主張を把握する。 ・ 「言葉を読む」ことの意味を、「言語ゲーム」の概念を通じて理解する。 ・ 言葉を用いる主体としてのあり方について、考えを深める。	○	○	・ 本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・ 本文中の比喩表現が指すものを理解している。 ・ 本文の内容の中心となる、ウィットゲンシュタインの「言語ゲーム」の概念について、正しく理解している。 ・ 「言語ゲーム」の考え方において、「言葉の意味」や「言葉を理解する」とはどういうことを指すのか、理解している。 ・ 「言葉を読むとは」の問いに対する答えを、本文全体を通じてまとめることができる。 ・ 言葉を用いる主体としてのあるべき姿勢について、筆者の主張を読み取っている。 ・ 言葉を用いる主体としてのあるべき姿勢について、自分なりに考え意見を述べることができる。			○	○	○	8
3 学 期	7. 「庭」 山本文緒	・ 登場人物の心の動きに注意して、作品の主題について考察し、家族や人間どうしのつながりに対する考えを深める。 ・ 高田明典「言葉を読むとは」『言語ゲーム』の概念で述べられた「言葉」について、本作品中での「シナリオ」の働きや変化の様子を確認する。	○	○	・ 小説の基本的な読み方を習得する。 ・ 情景、心情などを表現に即して丁寧に読み取ることによって、登場人物や登場人物どうしの関係性に変化が生じる様子や捉える。 ・ 登場人物どうしの関係性を象徴するモチーフの働きを理解する。 ・ 高田明典「言葉を読むとは」『言語ゲーム』の概念で述べられた「言葉」をめぐって「シナリオ」について、本作品中での「シナリオ」の働きや変化の様子を確認することを通じて考察を深める。						2
	定期考査										
	合計										

松が谷 高等学校 令和8年度（１学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： ２ 単位

対象学年組：第 １ 学年 １ 組～ ８ 組

教科担当者：（１組 宮田） （２組 藤田） （３組 宮田） （４組 宮田） （５組 松田） （６組 藤田） （７組 松田） （８組 藤田）

使用教科書：（「探究 言語文化」（桐原書店））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1. 古典と文化・古文と古語 児のそら寝 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、説話という文章の種類を知り、内容を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代語訳に取り組み、説話の内容を理解しようとしている。	・古文を学習する意義を理解し、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。 ・古語と現代語の違いを理解する。 ・句読点に注意しながら、正しく音読する。 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・傍訳と脚注を参考にしながら、本文の内容を正しく理解する。 ・児の心情を的確に読み取り、この話のおもしろさを理解する。	○		○		○	○	○	5
2. 羅生門 芥川龍之介 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を読んで感じたことを文章にまとめる。 作品の概要を発表用スライドにまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 芥川龍之介とその作品について知っていることを発表するなどして、教材への関心を高めている。	・話の展開や主題の把握など、小説を読む基本的な方法を習得する。 ・登場人物の心理や行動の意味を、表現に即して的確に読み取る。 ・結末部分の改稿について考察し、表現上の効果の違いを捉える。	○		○	・全文を正しく音読している。 ・老婆に対する比喩表現など、特色ある表現の意味と効果を理解している。 ・芥川龍之介の他の作品を読みなどして、作者への理解を深めている。 ・冒頭部分から作品の舞台背景を的確に捉えている。 ・下人の境遇や人物像を把握している。 ・下人の心理と行動の変化を的確に読み取っている。 ・老婆との会話によって下人の考えがどう変化したか理解している。 ・作品の主題について考察している。 ・結末部分について改稿前と改稿後を読み比べ、読後の印象の違いについて、自分の考えをまとめている。 ・文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・芥川龍之介とその作品について知っていることを発表するなどして、教材への関心を高めている。 ・下人の生き方から、人間の生き方への認識を深めようとしている。	○	○	○	5
定期考査						○	○	○	

1 学 期	3. 大江山 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 現代語訳に取り組み、説話の内容を理解しようとしている。	・正しく音読し、現代語訳ができるようにする。 ・形容詞の活用など、古典文法の基礎を理解する。 ・和歌の修辞技法を理解する。 ・登場人物の関係性を把握する。 ・筆者が示している教訓を的確にとらえ、この話のおもしろさを理解する。			○	・言葉のまとまりを的確に押さえて、歴史的仮名遣いに注意しながら正しく音読している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・形容詞の活用などの文法事項を理解している。 ・和歌の修辞技法（掛詞）について理解している。 ・和泉式部と小式部内侍について文学史的知識を持っている。 ・脚注を参照しながら、話の展開を理解している。 ・古語の意味を理解し、主語を明らかにしながら、正確に現代語訳している。 ・この話を通して作者が伝えようとしていることを考え、自分の意見を述べている。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 ・脚注を参考にしながら、和歌を含む説話の内容を積極的に理解しようとしている。 ・和泉式部、小式部内侍、歌合、局、丹後、	○	○	○	6	
	4. 漢文の基礎・推敲 【知識及び技能】 漢文を読むための基礎知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 【学びに向かう力、人間性等】 返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。	漢文を学習する意義を認識する。 ・漢文の構造と訓読の方法について理解する。 ・漢語の構造に日本語と語順が同じものと語順が異なるものがあることを理解する。 ・漢文訓読によって出来上がる「漢文脈」について認識する」 ・頻出する漢文の基本構造について理解する。 ・音読を繰り返して訓読に慣れる。 ・「推敲」という言葉の意味と由来を理解する。 ・登場人物や時代背景に注意しながら内容を理解する。			○	・送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。 ・書き下し文の決まりや置き字について理解している。 ・漢文特有の構造について理解している。 ・漢文に特有の語や、否定形の句形について、その読みと意味を理解している。 ・話の背景にある科挙制度の概要や当時の詩の役割を理解している。 ・「推敲」という言葉の意味と由来を理解している。 ・書き下し文を参照しながら、漢文を正しく音読している。 ・訓点に従い、置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を正しく書き下し文に改めている。 ・漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・場面と登場人物の言動をを整理しながら韓愈の心情を想像し、自分の考えを述べている。 ・返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・「推敲」という言葉の意味と由来を漢和辞典を用いて調べている。 ・韓愈の心情について、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。	○	○	○	6	
	5. 徒然草 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の思想背景としての「無常観」について調べ、理解しようとしている。	・正しく音読し、傍訳と語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・助動詞・助動詞など、古典文法の基礎を理解する。 ・観念性・抽象性の高い文章の内容を、構成や展開に即して的確に捉える。 ・随筆の主題を理解し、時代背景や当時の価値観を読み取る。 ・和文体・和漢混淆文体・説話体の文体の違いを理解し、優れた表現を味わう。 ・登場人物の行動や心情、または作者の考えなどを的確に捉え、各章段のおもしろさを理解する。			○	・言葉のまとまりを的確に押さえて、全文を正しく音読している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・助動詞「む」「べし」「ず」「き」「けり」「たり」、助詞「ばや」「で」「かな」「もがな」について、基本的な意味・用法を理解している。 ・係り結びや反語表現などの文法事項を理解している。 ・兼好法師と「徒然草」について、文学史的知識を身につけている。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・係り結びや反語表現などに現れている作者の思想や感情を、的確に読み取っている。 ・本文に表れている作者の心境について考え、自分の意見を述べている。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。 ・周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。 ・当時の思想背景としての「無常観」について調べ、理解しようとしている。 ・兼好法師と「徒然草」について、文学史的事項を調べたり発表したりしている。	○	○	○	5	
	定期考査							○	○	○	

2 学 期	6. 伊勢物語 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 「伊勢物語」全体の構成・内容について関心を持ち、調べている。	・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・助詞や助動詞など文法事項への理解を深め、古文の内容を正確に把握する力を養う。 ・敬語表現の概要について理解する。 ・和歌の修辞技法への理解を深める。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・本文の展開や和歌の解釈に留意して内容を理解し、当時の社会のありさまや登場人物の心情を捉える。 ・登場人物の行動やその背景にある心情について、自分の考えを発表したり文章で表現したりできるようにする。	○	○	・全文を正しく音読している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・助動詞「らむ」、助詞「さへ」「こそ」「ものを」「して」「だに」「てしがな」、「なむ」「し」「に」の識別、呼応の副詞などについて、基本的な文法事項を理解している。 ・歌物語における和歌の役割を理解している。 ・和歌の修辞技法（序詞・掛詞・縁語・折り句）を理解している。 ・「伊勢物語」について、文学史的知識を身につけている。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・登場人物の関係や物語の展開に注意し、内容を正確に読み取っている。 ・「男」の心理の推移の描写を丁寧にたどり、その心情を口語自由詩の形式で表現している。 ・「男」の心理の推移を旅の進行に対応させて理解し、その心情を工夫しながら日記として表現している。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。 ・周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。 ・「伊勢物語」全体の構成・内容について関心を持ち、調べている。 ・歌物語の系統を引く作品に関心を持ち、調べたり読んだりしている。	○	○	○	7	
	7. 塞翁馬 【知識及び技能】 漢文を読むための基礎知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 【学びに向かう力、人間性等】 返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。	・音読を繰り返して訓読に慣れる。 ・話の構成を理解し、事件の経過を正確に読み取る。 ・指示語を具体化しながらわかりやすく現代語訳する。 ・故事成語への理解を深める。 ・登場人物の考え方を理解し、その考え方を現代の世界においてどのように生かすことができるか、具体的に述べることができる。	○	○	・漢文に特有の語や、反語形・否定形の句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 ・「塞翁が馬」「蛇足」「登竜門」「画竜点睛」「杞憂」という言葉の意味と由来を理解している。 ・漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・塞翁の身に起きた出来事と、塞翁が禍福において動じなかった理由を的確に捉えている。 ・塞翁の考え方を的確に理解し、その考え方を現代の世界においてどのように生かすことができるか、具体例を挙げながら文章にまとめている。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・本文中の語句の意味を漢和辞典を用いて調べている。 ・「塞翁が馬」「蛇足」「登竜門」「画竜点睛」「杞憂」の意味と由来を漢和辞典で調べ、故事成語への理解を深めている。 ・返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。	○	○	○	6	
	定期考査							○	○	○

3 学 期	11. 平家物語 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 源平の合戦をめぐる時代状況について関心を持ち、調べている。	・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・係り結び、音便、敬語など文法事項への理解を深め、古文の内容を正確に把握する力を養う。 ・生き生きと音読し、語り物としての作品の魅力を味わう。 ・軍記物語の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・物語の内容を理解し、登場人物の行動や心情を読み取る。	○	・全文を正しく音読している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・係り結びについて理解している。 ・音便について理解している。 ・敬語表現の種類や用法について理解している。 ・「平家物語」について、文学史的知識を身につけている。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・文体の特徴を理解しながら、生き生きと音読している。 ・全体の構成や展開に注意し、内容を正確に読み取っている。 ・冒頭の文章に表れている思想を理解し、作者の意図を的確に読み取っている。 ・登場人物の心情を話の展開に即して的確に読み取り、木曾義仲と巴の結びつき、義仲と今井四郎の結びつきとを、比較・対照しながら理解している。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。 ・源平の合戦をめぐる時代状況について関心を持ち、調べている。 ・武士の装束、武具と戦のありさまなどについて関心を持ち、調べている。	8
	五言絶句／七言絶句／五言律詩／七言律詩 【知識及び技能】 漢詩のきまりを理解する。 作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 漢詩が詠まれた背景や作者について調べ、理解を深めようとしている。	・漢詩を音読し、それぞれの詩のリズムを味わう。 ・漢詩の簡潔な表現に込められた内容や情感を理解する。 ・漢詩の表現形式について理解する。 ・杜甫、李白、王維など主要な詩人について、文学史的知識を持つ。 杜甫、李白について、文学史的知識を持つ。 ・白居易の文学が日本の古典文学に与えた影響について理解する。	○	・漢詩の形式を理解している。 ・各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。 ・漢文に特有な語や基本的な句形について、その読みと意味を理解している。 ・各詩に登場する地名について、その位置関係を理解している。 ・作者の生涯について文学史的な知識を持っている。 ・漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。 ・脚注を参照しながら、正確に現代語訳している。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。 ・詩中に登場する地名について、地図で位置を確認している。 ・作者の生涯について調べ、詩の内容への理解を深めようとしている。 ・作者の生涯について調べ、詩の内容への理解を深めようとしている。 ・「源氏物語」など、「八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九」の詩句を引用した日本の文学作品について調べている。	5
				合計	
					70

松が谷 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～9組

教科担当者：（1組 堀田）（2組 橋爪）（3組 堀田）（4組 橋爪）（5組 松田）（6組 堀田）（7組 松田）（8組 橋爪）

使用教科書：（「探求 論理国語」）（桐原書店）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語 彙	書	読					
1 学 期	1.「木を伐る人/植える人」赤坂憲雄 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 自然と人間との新たなあり方を考える契機とする。	・常用漢字を文や文章で活用する。 ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・二項対立による比較対照に着目し、筆者の主張を的確に捉える。 ・近代以降問題となった環境問題について考える。	○		○	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、自らの主張に積極的に取り入れている。 ・筋道を立てて考えることを通して、必要な情報を関連付けて、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・新しい人と自然をつなぐモラルについて、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 ・設定した題材に関する複数の文章や資料を基に、必要な情報を適切に関連付けて、自分の考えを広げたり深めたりし、発展させている。 ・本文内容の正しい理解を踏まえて、「知恵や技術の世界観」が近代の訪れとともに失われていった具体例についてのグループ内の調べ学習に積極的に参加し、レポートにわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	○	○	○	5
	2.「なめとこ山の熊」宮沢賢治 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・物語の舞台設定を把握し、作者の自然描写の特色を理解する。 【学びに向かう力・人間性】 評論「木を伐る人/植える人」との関連において、自然と人間の新たなあり方を考える契機とする。	・常用漢字を文や文章で活用する。 ・評論教材との関連において小説を発展的に読む。 ・物語における異界（非日常）へつながる通路の設定について理解する。 ・最終場面において小十郎のたどった境地について理解する。 ・作品に描かれた生命観について理解する。	○		○	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、自らの主張に積極的に取り入れている。 ・筋道を立てて考えることを通して、必要な情報を関連付けて、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・新しい人と自然をつなぐモラルについて、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 ・設定した題材に関する複数の文章や資料を基に、必要な情報を適切に関連付けて、自分の考えを広げたり深めたりし、発展させている。 ・本文内容の正しい理解を踏まえて、「知恵や技術の世界観」が近代の訪れとともに失われていった具体例についてのグループ内の調べ学習に積極的に参加し、レポートにわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	○	1
	3.「山月記」中島敦 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 物語の虚構性に仮託されたテーマから、「変身」における要素を実社会において探究し、考えを深める。	・小説の読み方を習得する。 ・漢文体が持つ独特のリズムを味わいながら、画面の展開と登場人物の心理の変化を的確に捉える。 ・作者が描こうとしたテーマについて考え、小説を自分自身の問題に引きつけて読む姿勢を養う。	○	○	○	・「山月記」における文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。 ・「山月記」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について十分に理解を深めている。 ・漢文体が持つ独特のリズムを味わいながら、画面の展開と登場人物の心理の変化を的確に捉えることができる。 ・作者が描こうとしたテーマについて考え、小説を自分自身の問題に引きつけて読む姿勢を養おうとしている。	○	○	○	7
	4.「変身に伴う快楽と恐れ―「山月記」を通じて―」宮原浩二郎 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 物語の虚構性に仮託されたテーマから、「変身」における要素を実社会において探究し、考えを深める。	・常用漢字を文や文章で活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・対立する考えに着目し、筆者の主張を的確に捉える。 ・「変身」という話題を通して、死への恐怖、再生の喜びを感じる人の心のあり方について自分の考えを深める。	○		○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・文章中に登場する小説作品に共通する主題を理解し、筆者の考え方を的確に捉えている。 ・本文の内容を参考に「変身」に対する他人の考え方や自分自身の意見を、自分なりに考え文章にまとめ、発表することができる。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1

2 学 期	5. 「ころ」 夏目漱石 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 「ころ」の構成や展開、表現の仕方を十分に踏まえ、解釈の多様性について考察を深める。 【学びに向かう力・人間性】 本文の内容を踏まえて疑問に思ったことなどについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめる。	・小説の読み方を習得する。 ・まとまった分量のある小説を読み、場面の展開や登場人物の心理の変化を捉える力を養う。 ・主題の把握を通して、人の心の不可思議さについて考えを深める。	○	○	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解している。 ・「ころ」の構成や展開、表現の仕方を十分に踏まえ、解釈の多様性について考察を深めている。 ・本文の内容を踏まえて疑問に思ったことなどについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	7
	6. 「淋しい人間 ―『ころ』を通じて」 山崎正和 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 二項対立による比較対照に着目し、評論の基本的な読み方を習得する。 【学びに向かう力・人間性】 日本人と規範の関係についての筆者の考えを読み取り、自らの問題として考える。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方を習得する。 ・論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 ・本文で取り上げられている作品（「ころ」）を通して「エゴイズム」「近代的自我」といった作品の主題に触れながら文学作品としての主題の深さを読み解く。 ・多角的に作品を評価する態度を養う。	○	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・文章中に登場する小説作品に共通する主題を理解し、筆者の考え方を的確に捉えている。 ・本文の内容を参考に「近代的自我」に対する他人の考え方や自分自身の意見を、自分なりに考え文章にまとめ、発表することができる。	○	○	○	5
	定期考査					○	○	○	1
	7. 「ドローン兵器とSNS」 大山顕 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 筆者の主張を読み取り、現代における科学技術の問題点を考える。	・評論の読み方を習得する。 ・情報機器の浸透によって変化した「写真」の存在意義や「写真行為」の意味について理解する。 ・ドローン兵器とSNSの類似点をまとめ、現代における科学技術の課題についての自分の考えを深める。	○	○	・効果的な段落の構造や論の形式 などの、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 ・本文における写真の例をもとに、技術の変化がもたらす社会への影響について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 ・本文の内容を踏まえて「目的を 逆行するために大局的な思想をなおざりにしてしまう」ことについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	8
	8. 「キャラクターの身体、自動車の身体」 三宅陽一郎 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を整理しながら、順序だてて説明する文章の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 本文の内容を踏まえたうえで、人工知能と身体の関係について考える。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・説明文の基本的な読み方を習得する。 ・受動と主体という二重性こそが、生物の身体の本質的な特徴であるという筆者の主要な見解をつかむ。 ・人工知能と身体の関係について考える。	○	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・文や文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にし、自分の考えを確固なものとしている。 ・本文の内容を踏まえて、自動運転車が実現した社会の利点と課題について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら、八百字程度にわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○	○	1

3 学 期	9. 「『である』ことと『する』こと」 丸山真男 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性】 筆者の主張を読み取り、現代の民主主義のあり方を具体的に考える。	・評論の読み方を習得する。 ・長文の評論を読み、二項対立を基本とした論構成を理解する。 ・「民主主義」「自由」「近代化」など、普遍的なテーマへの理解を深める。 ・日本の近代化の特質とその問題点を論じた内容を、現代の課題として捉え直す。	○ ○ ○	・効果的な段落の構造や論の形式 など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 ・政治や文化における「である」価値と「する」価値について、様々な論点や異多なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 ・本文の内容を踏まえて、「民主主義」や「自由」について考え、現代日本に必要なことはどういうことかについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○ ○ ○	10
	実用的な文章 1 議事録を作る 実用的な文章 2 ゲームのルールをまとめる 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用する。 【思考力・判断力・表現力等】 伝えたいことが的確に伝わるように、文章の構成や展開、表現の仕方などを吟味し、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直し、自分の表現に役立てる。 【学びに向かう力・人間性】 実用文の読み取りの手順を踏まえて、読み手を意識しながらゲームのルールをわかりやすく簡潔にまとめる。	・実用的な文章の基本的な読み方を習得する。 ・実際に「議事録」を作成したり、規約の内容を読み取ることを通して、情報の重要度や正確な読み取り方を身につける。 ・実際に「ゲームのルール」を作成することを通して、さまざまな観点から概要を把握する力と、誤解されないようなわかりやすい表現方法を身につける。	○ ○ ○	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 ・伝えたいことが的確に伝わるように、文章の構成や展開、表現の仕方などを吟味し、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直し、自分の表現に役立てている。 ・実用文の読み取りの手順を踏まえて、読み手を意識しながら議事録をわかりやすく簡潔にまとめようとしている。 ・実用文の読み取りの手順を踏まえて、読み手を意識しながらゲームのルールをわかりやすく簡潔にまとめようとしている。	○ ○ ○	6
	定期考査				○ ○ ○	1
						合計
						70

年間授業計画 様式例

松が谷 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 9 組

教科担当者：（1・2組 小森）（3組 橋爪）（4・5組 堀田）（6組 橋爪）（7組 小森）（8組 堀田）

使用教科書：（「探求 古典探究」（桐原書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを上げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語 文	書	読					
1 学 期	1.「衣のたて」古今著聞集 【知識及び技能】 本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用する。 【思考力・判断力・表現力等】 説話という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力・人間性】 源義家について様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深め、自分の考えをわかりやすくまとめる。	・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。 ・説話文学のジャンルである歌徳説話の特質を捉える。 ・本文に表されている作者の考えを捉える。	○		○	・和歌の修辞法について理解を深め、その知識を活用している。 ・説話という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・源義家について様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深め、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	3
	2.「家居のつきつきしく」徒然草 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文法を確実に学び、語感を養う。 【思考力・判断力・表現力等】 観念性・抽象性の高い文章の内容を構成や展開に即して的確に捉え、作品が書かれた時代背景を理解する。 【学びに向かう力・人間性】 和文体・和漢混清文体・説話体の文体の違いを理解し、優れた表現を味わう。	・語句や文法を的確に押さえる。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。 ・随筆を読み、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・観念性・抽象性の高い文章の内容を構成や展開に即して作者の考えを的確に捉える。 ・作品が書かれた時代背景を理解する。	○		○	・本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ・説話という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えようとする態度を評価している。 ・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の意図や思想について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	4
	4.「月やあらぬ」伊勢物語 【初冠】 歌物語という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用する。 【思考力・判断力・表現力等】 歌物語という文章の種類を踏まえ、その特徴を考慮したうえで、構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力・人間性】 本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、登場人物の心情や作者の意図を多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりする。	・歌物語を読んで、平安時代の物語文学に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。	○		○	・歌物語という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえ、その特徴を考慮したうえで、構成や展開などを的確に捉えている。 ・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、登場人物の心情や作者の意図を多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	○	○	○	3
	4.「桃花源記」文章 【知識及び技能】 「桃花源記」を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深め、その知識を活用する。 【思考力・判断力・表現力等】 説話小説的文章という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【学びに向かう力・人間性】 本文の内容を踏まえて理想的な社会について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	・名文と呼ばれる文章を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。 ・六朝時代を代表する詩人陶潜とその時代背景を理解する。 ・説話小説的な内容の文章を、物語の展開に沿って正確に読解する。 ・「記」という文体と文章中の表現の関連について理解する。 ・作品全体の構成と作者の創作意図について理解する。	○		○	・「桃花源記」を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深め、その知識を活用している。 ・説話小説的文章という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・本文の内容を踏まえて理想的な社会について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
	6.「門出」更級日記 【知識及び技能】 女流日記文学の特徴について理解を深め、その知識を活用する。 【思考力・判断力・表現力等】 「更級日記」を現代の日記や他の古典作品と比較するなど、多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を的確にまとめる。 【学びに向かう力・人間性】 本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、女流日記文学について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめる。	・日記を読んで、人間、文学、社会などに対する作者のものの考え方や感じ方を理解する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・回想日記の特質を知って、女流日記文学への関心を高める。	○		○	・女流日記文学の特徴について理解を深め、その知識を活用している。 ・「更級日記」を現代の日記や他の古典作品と比較するなど、多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を的確にまとめている。 ・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、女流日記文学について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	3

7. 「中納言参りたまひて」「雪のいと高う降りたるを」枕草子 【知識及び技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方について、現代との違いや現代における影響などを考えながら読み、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 随筆という文章の種類についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力・人間性】 本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の物事の捉え方や思想を多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換する。	・随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・古文の調子を味わいながら、的確に朗読したり、暗唱したりする。 ・随想的章段・類聚的章段・日記的章段のそれぞれの特色を理解する。	○	○	・随想的章段・類聚的章段・日記的章段の特徴について理解を深め、その知識を活用している。 ・随筆という文章の種類についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の物事の捉え方や思想を多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	○	○	○	7
8. 「鴻門之会（一）沛公、項王に見ゆ」史記 【知識及び技能】 文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 【思考力・判断力・表現力等】 史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【学びに向かう力・人間性】 比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。	・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を楽しむ。 ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 ・本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解する。 ・秦の始皇帝死去後の漢楚の抗争の歴史について理解する。 ・中国の歴史叙述の基本形である紀伝体のスタイルについて理解する。	○	○	・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 ・史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。	○	○	○	4
定期考査					○	○	○	1

2 学 期	9.「花山院の出家」大鏡 【知識及び技能】 敬語を中心に、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用する。 【思考力・判断力・表現力等】 作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえでの確に評価する。 【学びに向かう力・人間性】 本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の意図や物事の捉え方について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換する。	・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 ・老人二人が語るという形式を用いた「大鏡」の構成の特色とおもしろさを知り、歴史物語というジャンルに関心を持つ。 ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。	○	○	・敬語を中心に、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ・作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえでの確に評価している。 ・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の意図や物事の捉え方について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	○	○	○	5
	10.「光源氏の誕生」源氏物語 【知識及び技能】 助動詞や敬語、和歌の修辞など、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用する。 【思考力・判断力・表現力等】 「源氏物語」の構成についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力・人間性】 内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「源氏物語」の表現上の特徴について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりする。	・長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 ・「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。 ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。	○	○	・助動詞や敬語、和歌の修辞など、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ・「源氏物語」の構成についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「源氏物語」の表現上の特徴について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	○	○	○	6
	8.「鴻門之会」樊噻、頭髮上指す」史記 【知識及び技能】 文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用する。 【思考力・判断力・表現力等】 史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力・人間性】 比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図る。 定期考査	・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力味わう。 ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 ・本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解する。 ・秦の始皇帝死去後の漢楚の抗争の歴史について理解する。 ・中国の歴史叙述の基本形である紀伝体のスタイルについて理解する。	○	○	・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 ・史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。	○	○	○	4
	9.「若紫」源氏物語 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文法を確実に学び、語感を養う。 【思考力・判断力・表現力等】 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 【学びに向かう力・人間性】 「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。	・語句や文法を的確に押さえる。 ・長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 ・「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。 ・敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。	○	○	・本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ・助動詞や敬語、和歌の修辞など、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 ・「源氏物語」の構成についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・表現上の特色や内容についての解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしたうえで、それらを的確にまとめている。 ・内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「源氏物語」の表現上の特徴について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	○	○	○	7
	8.「鴻門之会」臣死すら且つ避けず」史記 【知識及び技能】 文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 【思考力・判断力・表現力等】 史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【学びに向かう力・人間性】 比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。 定期考査	・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力味わう。 ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 ・本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解する。 ・秦の始皇帝死去後の漢楚の抗争の歴史について理解する。 ・中国の歴史叙述の基本形である紀伝体のスタイルについて理解する。	○	○	・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 ・史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○	○	1

松が谷 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教 科： 国語 科 目： 文学国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 9 組

教科担当者：（1組 都築） （2組 松田） （3組 都築） （4組 小森） （5組 都築） （6組 都築） （7組 小森） （8組 松田） （9組 小森）

使用教科書：（「探求 文学国語」）（桐原書店）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解
- 【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			読 書	書	読					
1 学 期	1.「自分を解釈してもらい喜び」 平野啓一郎 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 随想の特徴を捉え読み方を習得する。 【思考力・判断力・表現力等】 ものの見方、感じ方、考え方を適切に捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を十分に深める。 【学びに向かう力・人間性】 本文の内容を踏まえて自分の考えを深める。	・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・随想の読み方を習得する。 ・「オーダーメイド」と「マスプロダクション」の関係性の変化についての筆者の考えを読み取る。 ・コミュニケーションにおける新たな発見とそれによる可能性について捉える。	○		○	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を十分に増し、文章の中で適切に活用することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「自分を解釈してもらい喜び」に表れているものの見方、感じ方、考え方を適切に捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を十分に深めている。 ・本文の内容を踏まえてそれぞれの職業の独特さについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	4
	2.「愛のサーカス」別役実 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 小説の読み方を習得する。 【思考力・判断力・表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について細部にわたって評価することを通して、適切に内容を解釈する。 【学びに向かう力・人間性】 本文の内容を踏まえて二重構造について話し合い、自分の考えを深める。	・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・小説の読み方に習熟する。 ・物語の寓意的な結末について考察し、さまざまな解釈の可能性を検討する。 ・物語の二重構造化について理解する。	○	○	○	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解している。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について細部にわたって評価することを通して、適切に内容を解釈している。 ・設定した題材に関連する多様な作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を十分に深めている。 ・本文の内容を踏まえて二重構造について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1
	4.「舞姫」森鷗外 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 小説の読み方に習熟する。 【思考力・判断力・表現力等】 擬古文を用いた近代小説を読み味わうことにより、小説の多様な表現形式に触れる。 【学びに向かう力・人間性】 作品の背景にある時代と文化の状況について理解を深める。	・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について理解する。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深め、積極的に読書を行う。 ・作品の背景にある時代と文化の状況について、当時の「家制度」や近代における「自由」について考察する。	○	○	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・「舞姫」における文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めており、積極的に読書を行っている。 ・作品の背景にある時代と文化の状況について、当時の「家制度」や近代における「自由」について十分に理解した上で、適切に考察している。	○	○	○	15
	定期考査						○	○	○	1

2 学 期	4. 「もののふの心一言葉とコトバ」 若松 英輔 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、筆者の主張を読み取る。 【学びに向かう力・人間性】 周囲との話し合いの中で「コトバ」について多角的に考える。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・「言葉」と「コトバ」のそれぞれの意味を正確に読み取り、文学についての論評であることを認識する。 ・対比構造を読み取りながら、筆者の主張を的確に捉える。 ・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「コトバ」について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめる。	○	○	○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・「コトバ」やそれに関する文章の種類や特徴などについて十分に理解を深めている。 ・「コトバ」の内容や解釈を適切に踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を十分に深めている。 ・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「コトバ」について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	6
	5. 「バックストローク」小川洋子 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 小説の読み方に習熟する。 【思考力・判断力・表現力等】 小説という文章の種類を踏まえて、その特徴を十分に理解し、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力・人間性】 「バックストローク」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・小説の読み方に習熟する。 ・作品に描かれた状況・人物・心情を、丁寧な読解作業を通して的確に捉える。 ・抑制をきかせながらも、感情や印象を細やかにうかがわせる文章表現の魅力を味わう。	○		○	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めており、積極的に読書を行っている。 ・小説という文章の種類を踏まえて、その特徴を十分に理解し、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「バックストローク」に表れているものの見方、感じ方、考え方を適切に捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を十分に深めている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1
	7. 「詩人のふるさと」富岡 多恵子 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 一人の詩人の芸術的葛藤について論じた評論を読み、表現という行為の本質について理解を深める。 【学びに向かう力・人間性】 周囲との話し合いの中で詩の改変について多角的に考える。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方に習熟する。 ・ものの見方、感じ方、考え方を適切に捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を十分に深める。 ・多様な他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について十分に考察を深めている。 ・引用されている屋島の詩を丁寧に読み、詩の鑑賞力を高める。 本文の内容を踏まえて詩の改変について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことをまとめよう。	○		○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・「詩人のふるさと」やそれに関する文章の種類や特徴などについて十分に理解を深めている。 ・多様な他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について十分に考察を深めている。 「詩人のふるさと」に表れているものの見方、感じ方、考え方を適切に捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を十分に深めている。 ・本文の内容を踏まえて詩の改変について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	7
	8. 「『サヨナラ』ダケガ人生ダ」野崎 敏 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 「ロボットの心」についての研究が、「心とは何か」という哲学的な問題に直結するという筆者の主要な見解を理解する。 【学びに向かう力・人間性】 周囲との話し合いの中で「翻訳情緒」の改変について多角的に考える。	・常用漢字を文や文章ので活用する。 ・評論の読み方に習熟する。 ・元の漢詩と井伏鱒二の翻訳とを読み比べ、味わいの違いとそれぞれの特徴を捉える。 ・外国文学を翻訳することの原則と可能性を理解する。	○		○	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めており、積極的に読書を行っている。 ・翻訳に表れているものの見方、感じ方、考え方を適切に捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を十分に深めている。 ・「『サヨナラ』ダケガ人生ダ」の内容や解釈を適切に踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を十分に深めている。 ・本文の内容を踏まえて「翻訳情緒」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1

3 学 期	9. 入試問題演習	・ 共通テストの過去問演習を通して、選択肢問題の適切な解答法に習熟する。 ・ 私立大学の過去問演習を通して、100字以下の記述問題の回答に慣れ、解答速度を向上させる。	○	○	○	・ 共通テストの過去問演習を通して、選択肢問題の適切な解答法に習熟することができる。 ・ 私立大学の過去問演習を通して、100字以下の記述問題の回答に慣れ、解答速度を向上させることができる。	○	○	○	16